

22. 新人看護職員教育プログラム

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
到達目標	・社会人としての自覚を持てる ・部署の雰囲気になれる ・基本的な看護技術が指導を受けながら実施できる		・基本的な看護技術が 1 人で実施できる ・日勤・夜勤業務など各勤務形態に適應できる			・対応患者を理解し看護を実践できる	・習得した知識、技術を発揮し自信が持てる	・受持ち患者の看護展開・評価が行える ・受持ち患者の退院調整に関わることができる ・日々の業務の中で問題意識を持つことができる ・チームメンバーとしての役割を理解し実践できる			・1 人立ちができる	
集合研修	・新人研修①②③ 日常的な看護ケア 1・2 褥瘡予防、おむつ交換、食事介助、吸引、報・連・相 静脈注射ステップ 1 静脈注射技術	・新人研修④⑤ 静脈注射ステップ 2、ステップ 3ーA 輸液剤、輸液ポンプ、抗がん剤、麻薬注射		・新人研修⑥⑦⑧ 3 ヶ月振り返り、ストレスコーピング、心電図 フィジカルアセスメント	・新人研修⑨ 急変時の対応 心マ、挿管 DVT の予防	・新人研修⑩ 退院支援 6 ヶ月振り返り ・リスクマネジメント 研修基礎（KYT）	・新人研修⑪ 倫理基礎 急変時シミュレーション			・新人研修⑫ 日々の看護の振り返り ACP/終末期看取りの看護		・新人研修⑬ 1 年の振り返り
社会人基礎力	・挨拶を自分からする ・仕事の準備や後片づけを進んでできる ・わからない事できない事を言葉にし、支援を求めることができる ・指導されたこと、学んだことはメモに残すことができる ・わからない事を本で調べたり、手順を確認する ・先輩の助言を素直に受け止め、自分の課題とすることができる ・報告、連絡、相談を実践している ・自分の看護モデルとなる先輩を見つける事ができる ・なぜ、どうしても気づいた事に対して考える事ができる ・先輩に心配事やわからないことを相談することができる ・他の意見を聴くときは目を合わせ相槌を打つなどしている ・周囲に溶け込めるよう自分からコミュニケーションをとる ・身だしなみや言葉遣いは看護部のスースに従っている ・提出期限や時間などのルール、約束、マナーを守っている ・食事、睡眠など健康管理に留意している ・疑問や意見をわかりやすく先輩に伝える事ができる ・困難な状況から逃げ出さずに粘り強く取り組み続ける事ができる ・自分が決めたことは最後までやり抜くことができる ・課題について計画を立てている ・チーム会や退院調整カンファレンスなどで自分の意見を伝える事ができる ・内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を理解しようとしている ・相手がなぜそのように考えるのかを、相手の気持ちになって理解しようとしている ・相手の背景や事情を理解しようとしている ・自分にできる事、すべき事、先輩に依頼すべきことの判断ができる ・周囲の状況（忙しさなど）を配慮した行動をとっている ・人に相談したり、支援を受ける事でストレスを緩和している ・自分なりのストレス解消法を持っている											
管理的側面・ 看護技術	新人看護職員チェック表(新採用者)に沿って行動する ・到達の目安Ⅰ～Ⅳが達成できる											
評価・支援	・プリセプター会 ・人事評価とラダー面接(目標設定面接) ・研修後、OJT を実施	・プリセプター会 ・研修後、OJT を実施 ・未経験項目をチェックして経験できるように関わる				・プリセプター会 ・人事評価、ラダー面接 (目標設定面接) ・未経験項目をチェックし 経験できるように関わる	・プリセプター会 ・振り返り研修の課題を明確にして病棟全体で支援する ・研修後、OJT を実施 ・未経験項目をチェックして経験できるように関わる			・プリセプター会 ・人事評価、ラダー面接(目標設定面接)	・プリセプター会 ・振り返り研修の課題を明確にして病棟全体で支援する	
部署教育												
業務進行状況 (目安)	・全てペアで行動する ・3名程度の患者担当を開始する (フォローあり) ・看護補助業務体験する		・日勤業務を遂行できる (フォローあり)	・休日日勤業務を遂行できる (フォローあり) ・中日勤～夜勤 1 クールをシャドローイングで見学	・中日勤、夜勤に入る 指導者と 1 ～3 回をダブルで行う		・中日勤、夜勤業務が 1 人立ちできる ・受持ち患者を 1 名担当できる	・複数の受持ち患者を担当できる				